

段落	文	頁	行	原文	神山訳	寺沢訳
481		174	1 2	2. Identität der extensiven und intensiven Größe.	二、外延的な〈大きさ〉と 内包的な〈大きさ〉の同一態	二 外延的な大きさと 内包的な大きさと同一性
	1		3 4 5 6 7	Die intensive Größe ist die Anzahl der extensiven Größe in die Einfachheit zusammengenommen; ein be- stimmtes Eins, das seine Bestimmtheit nicht als ein Mehreres an ihm selbst hat; der Grad ist nicht innerhalb seiner ein sich Aeusserliches.	内包的な〈大きさ〉は、単純態にひとまと めにされて、外延的な〈大きさ〉の数値とな る。内包的な〈大きさ〉は、規定された〈一 つ〉である。この規定された〈一つ〉は、み ずからの規定態を、ほかならぬみずから自身 のもとに複数として具えていない。度数は、 みずからの内部においては、みずからに外面 的なものではない。	内包的な大きさは単一態へと集約された外 延的な大きさの集合数であり、その規定態を 多重的なものとしてでなくそれ自身のもとに もっている規定された一である。度はその 内部では自己に外的なものではない。
	2		7 8 9 10	Allein er ist nicht nur das unbestimmte Eins, das Princip der Zahl überhaupt, das nicht Anzahl ist, als nur die negative, keine Anzahl zu seyn.	しかしながら、度数は、一般に数の原理であ る無規定な〈一つ〉であるばかりではない。 このような原理は、数値ではなく、数値でな いという否定的な数値すぎないものだとして も数値ではない。	しかし度は無規定的な一・すなわち数の原理 一般にすぎないのではない。この数の原理と は、〔本来の〕集合数ではない否定的集合数 にすぎないものとして、集合数ではないので あるが。
	3		10 11	-- Aber die intensive Größe hat zugleich ihre Be- stimmtheit nur in einer Anzahl.	――だが、内包的な〈大きさ〉は、同時に、 みずからの規定態を数値のかたちでしか持た ない。	――しかし内包的な大きさは同時にその規定 態を集合数のなかだけにもっている。
	4		11 12 13 14 15 16	Sie ist ein einfaches Eins der Mehrern; es sind mehrere Grade; aber be- stimmt sind sie nicht weder als einfaches Eins, noch als Mehrere, sondern nur in der Beziehung dieses Aussersich- seyns, oder in der Identität des Eins und der Mehr- heit.	内包的な〈大きさ〉は、もろもろの複数の単 純な〈一つ〉である。その複数は、複数の度 数である。しかし、複数の度数は、単純な 〈一つ〉として規定されているのでも、複数 として規定されているのでもない。むしろ、 複数の度数は、こうした〈みずからの外にあ ること〉の関係においてのみ、すなわち〈一 つ〉と複数態との同一態においてのみ規定さ れているのである。	それは多重的なものの単一な一である。多数 の度が存在しているが、しかしそれらは単一 な一ともまた多重的なものとも規定されてお らず、ただこの自己外存在の関係のうちに・ 換言すれば一と多重性との同一性のうちにあ るにすぎない。
	5		16 17 18	Wenn also die Mehrern als solche ausser dem ein- fachen Grade sind, so besteht in seiner Beziehung auf sie seine Bestimmtheit; er enthält also die Anzahl.	したがって、複数そのものは、単純な度数の 外にあるのだから、度数の規定態の実質は、 度数と複数との関係にある。したがって、度 数は、数値を含んでいる。	したがって多重的なものそのものが単一な度 の外にあるのに対して、度の規定態は多重的 なものへの度の関係のうちに成りたってい る。したがって度は集合数を含んでいる。
	6		18 19 20 21	Wie zwanzig als extensive Größe, die zwanzig Eins, als di- screte in sich enthält, so enthält der bestimmte Grad sie als Continuität, welche diese bestimmte Mehrheit einfach	外延的な〈大きさ〉である〈二〇〉が分離 した〈大きさ〉である〈二〇〉の〈一つ〉を みずからに含むように、規定された（特定 の）度数は、〈二〇〉の〈一つ〉を連続として	外延的な大きさととしての二十が離散的な一と しての二十箇の一を自己のうちに含んでいる ように、二十と規定された度はそれだけの一 をこう規定された多重性が単一的にそれであ

		22 23	ist; er ist <i>der zwanzigste</i> Grad; und ist der zwanzigste Grad nur als diese Anzahl.	含む。この連続は、単純に、そうした規定された複数である。この度数は、【二〇番目の】度数であるし、こうした数値としてのみ〈二〇番目の〉度数なのである。	る連続性として含んでいる。この度は二十番目の度であり、そして二十番目の度は〔二十という〕この集合数としてのみある。
	7	23 24 25 26 27	Diese Anzahl aber, die im Grade einfach ist, ist zugleich Aeusserlichkeit an sich selbst; sie ist Anzahl nur als Menge von numerischen Eins, die eben so sehr ausser jener Einfachheit des Grades ist.	しかし、度数のかたちで単純なこうした数値は、同時に、外面態それ自体それ自身である。こうした数値は、数字で示す〈一つ〉からなる既定数としてだけの数値である。この既定数は、同時に、度数のそうした単純態の外にある。	だが度のうちで単一であるこの集合数は同時に外面態それ自体である。それは数的一の集合としてのみ集合数であり、この集合はまた同じく度というかの単一態の外にある。
482	1	28 29	Die Bestimmtheit der intensiven Größe ist daher von doppelter Seite zu betrachten.	したがって、内包的な〈大きさ〉がもつ規定態は、二つの側面から考察されなければならない。	だから内包的な大きさの規定態は二重の側面から考察されなければならない。
	2	29 30 31 32	Sie ist <i>erstens</i> bestimmt durch andere intensive Quanta; sie ist in Continuität mit ihrem Andersseyn, und in dieser Beziehung auf ihr Andersseyn besteht ihre Bestimmtheit.	内包的な〈大きさ〉は、【まず第一に】、他の内包的な現数量によって規定されている。内包的な〈大きさ〉は、みずからの〈他であること〉との連続のかたちをしており、みずからの〈他であること〉とのこうした関係にこそ、内包的な〈大きさ〉の規定態の実質がある。	それは第一に他のもろもろの内包的定量を通じて規定されている。それはその他在との連続性のうちにあり、しかもその規定態はそれの他在へのこの関係のうちに成りたっている。
	3	32 33 1 2	Insofern sie die <i>einfache</i> Bestimmtheit ist, ist sie also bestimmt <i>gegen</i> andere Grade; sie schließt dieselben aus sich aus, und hat ihre Bestimmtheit in diesem Ausschließen.	内包的な〈大きさ〉は、【単純な】規定態であるかぎり、他の度数に【対して】規定されている。内包的な〈大きさ〉は、この他の度数をみずからの外に締め出し、そして、このように〈締め出す〉さいに、みずからの規定態を持っている。	度の規定態が単一な規定態である限り、それはしたがって他の度に対して規定されている。それは他の度を自己から排除し、この排除する運動のうちに自己の規定態をもっている。
483	1	3 4 5 6	Aber <i>zweytens</i> ist sie an ihr selbst bestimmt; insofern ist sie es in der Anzahl, als in <i>ihrer</i> Anzahl, nicht als in der ausgeschlossenen oder nicht in der Anzahl anderer Grade.	しかし、【第二に】、内包的な〈大きさ〉は、みずから自身のもので規定されている。そのかぎり、内包的な〈大きさ〉は、数値のかたちで〈締め出すこと〉である。ただし、この数値は、【内包的な〈大きさ〉】の数値であって、締め出された数値でも、他の度数の数値でもない。	しかし第二にそれはそれ自身のもので規定されている。その限りそれは、排除された集合数すなわち他の度の集合数としてのではなく・その集合数としての集合数のなかで規定されている。
	2	6 7 8 9	Der zwanzigste Grad enthält die zwanzig an sich selbst; er ist nicht nur bestimmt als unterschieden vom neunzehnten, ein und zwanzigsten u. s. f. sondern seine Bestimmtheit ist <i>seine</i> gleichgültige An-	第二〇度数は、二〇それ自体それ自身を含んでいる。第二〇度数は、たんに第一九度数や第二一度数などと区別されて規定されているだけではない。むしろ、第二〇度数の規定態	二十番目の度は二十〔という集合数〕を自己本来的に含んでおり、十九番目の度とか二十一番目の度等々から区別されたものとして規

		10	zahl.	は、【みずからの】無関心な数値なのである。	定されているだけでなく、その規定態はその無関心的な集合数である。
	3	10 11 12	Aber insofern die Anzahl die seinige ist, und zwar ist die Bestimmtheit zugleich wesentlich als Anzahl, so ist er extensives Quantum.	しかし、数値が第二〇度数のものであるかぎり、そして厳密に言えば、その規定態が同時に数値として本質的であるとすれば、第二〇度数は、外延的な現数量である。	だが集合数がこの度の集合数であり、しかも規定態が同時に本質的に集合数としてあるその限りでは、度は外延的の定量である。
484	1	13 14 15 16	Extensive und intensive Größe sind also eine und dieselbe Bestimmtheit des Quantums, sie sind nur dadurch unterschieden, daß die eine dasselbe ist in einfacher Bestimmtheit, die andere in vielfacher.	したがって、外延的な〈大きさ〉と内包的な〈大きさ〉とは、現数量の一つの同じ規定態である。これらは、ただ次のようにして区別されるにすぎない。すなわち、一方の外延的な〈大きさ〉は、単純な規定態のかたちで同じ現数量であるが、他方の内包的な〈大きさ〉は、多重の規定態のかたちで同じ現数量だということである。	外延的な大きさと内包的な大きさととはしたがって定量の同一の規定態であり、後者は単一な規定態のうちにある定量であり、前者は複多的な規定態のうちにある定量であるということによって区別されているにすぎない。
	2	16 17 18 19 20 21	Die extensive Größe geht in intensive Größe über, weil ihr Vieles an und für sich in die Einheit zusammenfällt, und als Bestimmtheit des Vielen, sich äusserlichen numerischen Eins gegen die Einheit, in der Beziehung der Zahl auf sich selbst gegen diese Einheit, ausser ihr tritt.	外延的な〈大きさ〉は、内包的な〈大きさ〉に移行する。なぜなら、外延的な〈大きさ〉の〈多〉は、それ自体でもそれだけで独立しても統一（単位）に合流し、そして、〈多〉という――すなわちその統一に対してみずからに外面的な〈数字で示す〈一つ〉〉の――規定態としては、この統一に対して数がみずから自身に関係して、外延的な〈大きさ〉の外に踏み出すからである。	外延的な大きさは内包的な大きさへと移行する、というわけは、外延的な大きさの多はそれ自身絶対的に統一へと合一し、しかもこの統一に対する多の・すなわち自己に外的な数的一の規定態として、数のこの統一に対立する自己自身への関係のなかで、外延的な大きさの外に踏み出るからである。
	3	21 22 23 24	Aber umgekehrt hat dieses Einfache seine Bestimmtheit nur an der Anzahl und zwar als <i>seiner</i> ; denn es ist zugleich gleichgültig gegen die anders bestimmten Intensitäten.	しかし、逆に反転して、こうした単純なものは、みずからの規定態を、ただ数値――しかも厳密には【みずからの数値】としての数値――のものとしのみみずからの規定態を持たない。というのも、こうした単純なものは、同時に、別に規定されたもろもろの内包度（強度）に対して無関心だからである。	だがまた逆にこの単一なものはその規定態を集合数のもとにのみ・しかも自分の集合数としてのそれのもとにのみもっている。というのは、この単一なものは同時に他の仕方で規定されたもろもろの強度に対して無関心的だからである。
	4	24 25	Die intensive Größe ist also eben so wesentlich extensive Größe.	したがって、内包的な〈大きさ〉は、同じくらい本質的に、外延的な〈大きさ〉なのである。	したがって内包的な大きさはまたまさに本質的に外延的な大きさである。
485	1	26 27 28 29	Der Unterschied von extensiver und intensiver Größe beruht auf dem Unterschiede ihrer Momente, der Anzahl und der Einheit; sie ist die eine und die andre Größe in der Bestimmung des einen oder des andern Moments	外延的な〈大きさ〉と内包的な〈大きさ〉との区別は、それらがもつモメントである数値と統一（単位）の区別に基づいている。〈大きさ〉とは、一方の数値のモメントの規	外延的な大きさと内包的な大きさととの区別はそれらの契機・すなわち集合数と単位との区別にもとづいている。どちらの大きさもど

		30	gesetzt.	定で設定されたり、他方の統一のモメントの規定で設定されたりして、外延的な〈大きさ〉になったり内包的な〈大きさ〉になったりする。	ちらかの契機の規定のうちに定立されている。
	2	30 31 32 33 31 32 36 37	Aber weil diese Momente ihr wesentlich sind, weil die Bestimmtheit eben so sehr Bestimmtheit des Vielen als eines continuirlichen oder einfachen Beziehung auf sich, wie als des discreten, des sich äusserlichen ist, so ist ihr Gesetzseyn in einem derselben, eben so sehr ihr Gesetzseyn in dem Andern; oder ihr Daseyn ist dieses gedoppelte Daseyn, das aber in Rücksicht auf die Bestimmtheit des Quantums selbst gleichgültig ist.	しかし、これらのモメントは、〈大きさ〉にとって本質的であるので、すなわち、その規定態は、連続的な〈多〉としての、つまりみずからに対する単純な関係としての〈多〉の規定態であると同じ程度に、分離した〈多〉としての、つまりみずからに外面的な〈多〉としての規定態であるので、一方のモメントにおいて〈大きさ〉が〈設定されていること〉は、同じ程度で、他方のモメントにおいて〈大きさ〉が〈設定されていること〉なのである。いいかえれば、〈大きさ〉の現存在は、こうした二重の現存在であるが、この二重の現存在は、数量の規定態そのもの考えると、無関心なものなのである。	だがこれらの両契機は両方の大きさにとって本質的であり、また規定態は連続的なものないしは単一な自己への関係としての多の規定態でもあれば、また同じく離散的なもの・自己に外的なものとしての多の規定態でもあるから、〔どちらの大きさも〕両契機の一方におけるその大きさの定立された存在でもあれば、また同じく他方におけるその大きさの定立された存在でもある。換言すれば、それぞれの大きさの定在はこの二重の定在である、だがこの二重の定在は定量そのものの規定態に関しては無関心的である。